

授業科目	栄養治療学Ⅱ (Aクラス)				単位	2		
履 修	選択	関連資格	管理栄養士 栄教一種免		ナンバリング	NT21803J		
開講年次	3	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	花田 浩和							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>医療機関に従事する管理栄養士は、栄養サポートチームの一員として栄養管理を担う。適切な栄養管理は、治療の促進、合併症発現の抑制、入院期間の短縮、ひいては、医療費の削減に繋がることになり、重要な業務といえる。</p> <p>本科目では、傷病者の病態や栄養状態に応じた適切な栄養管理を行うために、各疾患の成因・病態、治療法ならびに具体的な栄養管理方法について修得することを目標とする。各疾患における栄養食事療法の意義と目的、栄養アセスメント法、栄養ケア計画の作成、栄養ケア実施後のモニタリング法ならびに栄養ケアの評価法について解説する。医療・介護制度やチーム医療における管理栄養士の役割について理解することで、国民の健康維持・疾病からの回復に大きな役割を期待されていることを認識し、管理栄養士としての資質を身につけることを目標とする。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各疾患の成因・病態・治療法を理解し、治療のための具体的な栄養管理方法を説明できる。 2. 各疾患の栄養ケア計画を作成し、栄養ケア実施後のモニタリング法、栄養ケアの評価法を説明できる。 3. 各疾患の治療のための栄養管理方法として、具体的な調理のポイントを説明できる。 4. 各疾患の栄養管理を理解したうえで、個人対応できる。 5. 薬剤と栄養・食物との相互作用を説明できる。 6. 医療における栄養管理の意義、管理栄養士の役割を述べるができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	50						50	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	30						30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	5						5	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)	5						5	
態度(DP4-2)	5						5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	5						5	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル 1～6 の全てを達成したうえで、知識に関しては、より詳細かつ丁寧に説明できる。さらに、修得した知識を応用して、さまざまな疾患の栄養管理方法を具体的に提示できる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 各疾患の成因・病態・治療法を理解し、治療のための具体的な栄養管理方法を説明できる。 2. 各疾患の栄養ケア計画を作成し、栄養ケア実施後のモニタリング法、栄養ケアの評価法を説明できる。 3. 各疾患の治療のための栄養管理方法として、具体的な調理のポイントを説明できる。 4. 各疾患の栄養管理を理解したうえで、個人対応できる。 				

			5. 薬剤と栄養・食物との相互作用を説明できる。 6. 医療における栄養管理の意義、管理栄養士の役割を述べる ことができる。	
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間 (分)
1	テーマ: 肝臓病の栄養管理 肝臓病、急性肝炎、慢性肝炎、非代償性肝硬変の栄養療法、腹水	講義	予習: 肝臓の働きを確認する。 復習: 非代償性肝硬変の食事のあり方を考える。	30 30
2	テーマ: 消化器疾患と栄養管理 消化と吸収、膵臓病、胆嚢切除、中心静脈栄養管理、成分栄養剤、経口食	講義	予習: 消化と吸収を復習する。 復習: 膵臓の働きを理解する。半消化態栄養剤と成分栄養剤の違いを確認する。	30 30
3	テーマ: 炎症性腸疾患 炎症性腸疾患、薬物療法と栄養管理、イレウス、食物残渣	講義	予習: 炎症性腸疾患の分類を確認する。 復習: クローン病の栄養管理について、目的と方法を理解する。	30 30
4	テーマ: 慢性心不全、閉塞性肺塞栓症 慢性心不全、カヘキシア、抗凝固薬 閉塞性肺塞栓症、呼吸器	講義	予習: 心臓と肺の構造と働きを復習する。 復習: 食事量が少なく、栄養摂取量が少ない場合の食事の工夫を考える。	30 30
5	テーマ: 胃潰瘍、胃切除後の食事 胃潰瘍、胃切除後、ダンピング症候群、胃腸逆流症	講義	予習: 胃の構造と役割を復習する。 復習: 胃切除後の食事について考える。	30 30
6	テーマ: 貧血 貧血、鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血	講義	予習: 腸肝循環について復習する。 復習: 貧血の分類と栄養管理上の留意点を理解する。	30 30
7	テーマ: 消化管切除後と栄養管理 上部消化管切除、下部消化管切除、人工肛門、消化器切除	講義	予習: 消化管の構造と機能を確認する。 復習: 消化管切除に伴う栄養的問題を理解する。	30 30
8	テーマ: がん治療と栄養管理 癌と栄養、がん化学療法、放射線療法、がん悪液質、	講義	予習: がん治療の副作用について確認する。 復習: がん治療の副反応と栄養管理について理解する、。	30 30
9	テーマ: 免疫抑制と食事 移植・がん化学療法による免疫抑制、食品衛生、非加熱食	講義	予習: 食品衛生の基本を復習する。 復習: 免疫抑制に対する食事を考える。	30 30
10	テーマ: 摂食嚥下調整食 経口栄養、摂食嚥下、嚥下調整食、	講義	予習: 日本摂食 嚥下 リハビリテーション学会 嚥下調整食分類を確認する。 復習: 日本摂食 嚥下 リハビリテーション学会 嚥下調整食分類を理解する。	30 30
11	テーマ: 栄養摂取量の計算	講義	予習: 糖尿病・腎臓病の食品交換表を確認する。	30 30

	栄養量の算出(糖尿病食品交換表、腎臓病食品交換表、塩分量)		復習:熱量、たんぱく質量、塩分量を短時間で計算できるようになる。	
12	テーマ:褥瘡、熱傷 褥瘡、熱傷、外傷、微量元素の重要性	講義	予習:褥瘡発生の要因を考える。 復習:目標栄養投与量と栄養投与ルートを考える。	30 30
13	テーマ:診療報酬、介護保険 診療報酬、介護保険、包括医療、クリニカルパス	講義	予習:医療法と診療報酬制度を確認する。 復習:病院や介護施設における経営管理について考える。	30 30
14	テーマ:栄養指導記録 栄養ケアマネジメント、SOAP、POMR	講義	予習:「主観的」「客観的」の意味を確認する。 復習:「主観的」「客観的」について考える。	60 0
15	まとめ	講義	予習:講義全体の見直し、試験の準備をする。 復習:講義全体の見直し。	60 0
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	疾患の成因・病態および治療法に関する知識を必要とする。			
テキスト	本田佳子編「新臨床栄養学第4版」(医歯薬出版株式会社) 奈良信雄著:「看護・栄養指導のための臨床検査ハンドブック」(医歯薬出版) 日本糖尿病学会編:「糖尿病食事療法のための食品交換表(第7版)」(文光堂) 黒川清監修:「腎臓病食品交換表(第9版)」(医歯薬出版)			

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて、資料を配付する。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	栄養治療学はこれまで学んできた「生化学」「疾病診断治療学」「病理学」「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」等を基に、管理栄養士として必要な実践的な栄養ケアの知識を学ぶものです。これらの科目を復習するとともに、シラバスを参照し、次回の講義内容について、予習して授業に臨んでください。
達成度評価に関するコメント	成績評価として、試験を実施する。 詳細については、授業の中で説明する。